

隠喩-直喩の選好と慣習性、適切性との関係 -意味内容を基準とした検討-

京都大学大学院・教育学研究科

平知宏 (sakusha@syd.odn.ne.jp) ・楠見孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

背景・目的

なぜ隠喩と直喩の選好性？

言葉は武器だ vs. 言葉は武器のようだ…？
主題と喩辞の類似性認知の度合いを調べるための有効な方法。類似性が強く認知されていると隠喩が好まれ、弱いと直喩が好まれる。

選好性に影響を与える要因は？

★喩辞の慣習性 (Conventionality)

Bowdle & Gentner (2005). 喩辞が特定の意味合いで使用される頻度や習慣の強度。慣習性が高いと、その意味を基準に主題と喩辞の類似性を発見しやすくなるため、隠喩形式が好まれやすくなる。
比喩の理解は喩辞の処理が中心である。

★比喩の適切性 (Aptness)

Jones & Estes (2006). 主題の重要な特徴を表す際に、用いた喩辞が適切であるかどうか。適切であるほど、隠喩形式が好まれやすくなる。
比喩の理解は主題と喩辞の相互作用が重要である (c.f. Chiappe & Kennedy, 2001; Utsumi, 2007)。

適切性の定義は大丈夫？

主題にとって重要でない特徴であっても、適切とされる例もある (平・楠見, 2009, 例: 真理は迷宮だ→真理はわかりにくい)。どのような特徴に注目するかで、結論は変わる可能性がある。

→比喩のどのような特徴に注目するかを限定した上で、選好性に影響を与える要因を検討する。

方法

材料

日本語の比喩文72文を使用。それぞれの比喩文の解釈に相当する特徴を作成。
例: (比喩) 言葉は武器だ
(特徴) 人を傷つける

調査 1

日本語を母語とする大学生・大学院生を対象に、3つの調査を実施。比喩文の適切性や類似性などの各パラメータを測定。評定は全て5段階評定。
(1): 主題・喩辞における特徴の重要度評定
特徴を基準としない主題と喩辞の類似性評定 (男性30名・女性38名, 平均21.6歳)
(2): 喩辞における特徴の慣習性評定
特徴を基準とした比喩の適切性評定 (男性36名・女性63名, 平均18.7歳)
(3): 特徴を基準とした面白さ, 理解容易性, 親しみやすさ, 意外性, 主題と喩辞の類似性評定 (男性23名・女性82名, 平均21.6歳)

* (2)と(3)の評定時には、比喩文を同時に呈示。呈示する比喩文は、約半数の参加者には隠喩を、残りの参加者には直喩を呈示した。

調査 2

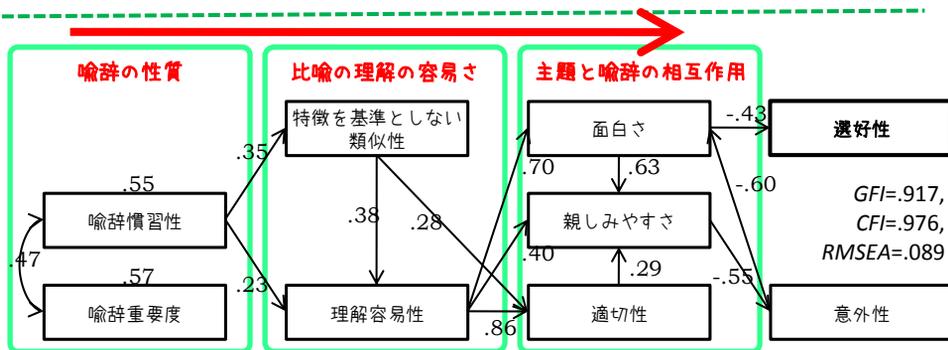
日本語を母語とする800名 (男性・女性400名, 平均43.3歳) を対象に、インターネットを通じた比喩文の隠喩-直喩の形式選好調査。1 (隠喩が好ましい) -5 (直喩が好ましい) の5段階評定。

結果

結果の処理

調査1の各パラメータの平均を算出
調査2の選好度の分布と平均を算出

* 得られたデータが莫大なので、各データの詳細な結果については、Appendixもしくは予稿集の表をご参照お願いいたします。



分析 1 : 主題における特徴の重要度

低い比喩 (M=2.78, n=36) 例: 真理-よくわからない
選好度との相関: -.31*** 真理は迷宮だ…が良い!
高い比喩 (M=3.91, n=36) 例: 言葉-人を傷つける
選好度との相関: -.32*** 言葉は武器だ…が良い!

分析 2 : 相関からのパスモデル

大きく分けるとすると、選好の決定には3つの段階があると考えられるかもしれない。

→主題における特徴の重要度に関わらず、適切である比喩であれば隠喩が好まれる (Jones & Estes, 2006)

→喩辞の性質に関わる要因が、理解の容易さに関わる要因を決定し、さらに容易さが、主題と喩辞の相互作用に関わる要因を決定する。最終的に、相互作用の起こりやすい組み合わせなら、隠喩が好まれる?

隠喩-直喩の選好と慣習性、適切性との関係 -意味内容を基準とした検討-

京都大学大学院・教育学研究科

平知宏 (sakusha@syd.odn.ne.jp)・楠見孝 (kusumi@educ.kyoto-u.ac.jp)

Appendix

調査1：具体的な質問内容（例：言葉は武器）

(1)：主題・喩辞における特徴の重要度評定

「言葉 or 武器」において「人を傷つける」はどの程度重要な特徴か？

特徴を基準としない主題と喩辞の類似性評定

「言葉」と「武器」はどの程度似ているか？

(2)：喩辞における特徴の慣習性評定

「武器」は「人を傷つける」という意味で、どの程度慣習的に使うか？

特徴を基準とした比喩の適切性評定

「言葉は人を傷つける」という上で、「言葉は武器だ or 言葉は武器のようだ」はどの程度適切か？

(3)：特徴を基準とした面白さ、理解容易性、親しみやすさ、意外性、主題と喩辞の類似性評定。

「言葉は武器だ or 言葉は武器のようだ」という文において、「人を傷つける」という意味は、どの程度面白い（理解しやすい、なじみがある、意外である、言葉と武器の類似を表している）か？

調査1各パラメータの平均（左）と調査2：選好度との相関（右）

平均 (SD)		<i>r</i> <i>p</i>	
(1)		(1)	
主題における特徴の重要度	3.34 (0.69)	主題における特徴の重要度	-0.28 *
喩辞における特徴の重要度	3.58 (0.76)	喩辞における特徴の重要度	-0.06 <i>n.s.</i>
特徴を基準としない主題と喩辞の類似性	2.68 (0.81)	特徴を基準としない主題と喩辞の類似性	-0.08 <i>n.s.</i>
(2)		(2)	
喩辞の慣習性	3.38 (0.74)	喩辞の慣習性	0.02 <i>n.s.</i>
適切性	3.17 (0.78)	適切性	-0.23 *
隠喩呈示時	3.20 (0.79)	隠喩呈示時	-0.34 ***
直喩呈示時	3.14 (0.82)	直喩呈示時	-0.11 <i>n.s.</i>
(3)		(3)	
面白さ	2.80 (0.30)	面白さ	-0.28 *
隠喩呈示時	2.79 (0.35)	隠喩呈示時	-0.35 ***
直喩呈示時	2.82 (0.34)	直喩呈示時	-0.14 <i>n.s.</i>
理解容易性	3.25 (0.60)	理解容易性	-0.24 *
隠喩呈示時	3.20 (0.65)	隠喩呈示時	-0.32 **
直喩呈示時	3.29 (0.60)	直喩呈示時	-0.13 <i>n.s.</i>
親しみやすさ	2.81 (0.63)	親しみやすさ	-0.28 *
隠喩呈示時	2.76 (0.69)	隠喩呈示時	-0.33 ***
直喩呈示時	2.86 (0.63)	直喩呈示時	-0.21 †
意外性	2.78 (0.38)	意外性	0.19 <i>n.s.</i>
隠喩呈示時	2.78 (0.43)	隠喩呈示時	0.23 †
直喩呈示時	2.79 (0.40)	直喩呈示時	0.11 <i>n.s.</i>
特徴を基準とする主題と喩辞の類似性	3.09 (0.57)	特徴を基準とする主題と喩辞の類似性	-0.19 <i>n.s.</i>
隠喩呈示時	3.07 (0.59)	隠喩呈示時	-0.25 *
直喩呈示時	3.12 (0.58)	直喩呈示時	-0.12 <i>n.s.</i>

N=72

N=72, $p > .10$ *n.s.*, $p < .10$ †, $p < .05$ *, $p < .01$ **, $p < .005$ ***

引用文献

- Bowdle, B. & Gentner, D. (2005). The Career of Metaphor. *Psychological Review*, 112, 193-216.
- Chiappe, D. & Kennedy, J. (2001). Literal bases for metaphor and simile. *Metaphor & Symbol*, 56, 172-188.
- Jones, L., & Estes, Z. (2006). Roosters, robins, and alarm clocks: Aptness and conventionality in metaphor comprehension. *Journal of Memory and Language*, 55(1), 18-32.
- 平知宏・楠見孝. (2009). 比喩文の適切性評価に関わる主題と喩辞の認知. *日本認知言語学会論文集*, 9, 465-471.
- Utsumi, A. (2007). Interpretive diversity explains metaphor-simile distinction. *Metaphor & Symbol*, 22, 291-312.